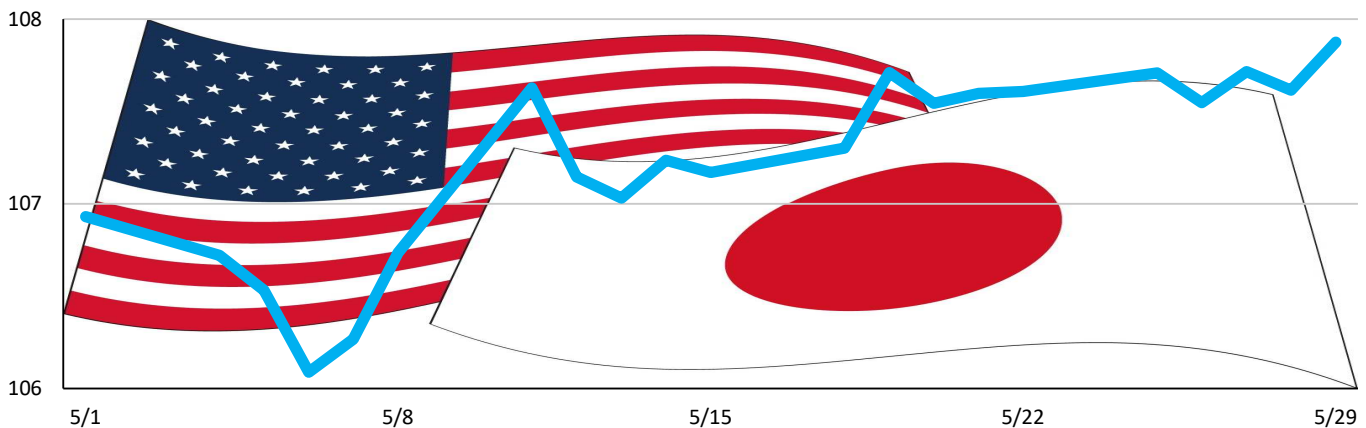


MARKET REVIEW

先月の振り返り：5月のドル円相場は108円前半～105円後半で推移。前半は日本がGWだったこともあり、やや円高気味で推移する中、米雇用統計の結果が戦後最悪となったものの、指標悪化を織り込んでいたのか、悪材料にもかかわらず想定外のドル買いとなった。その後も新型コロナに対する警戒が続いているが、ロックダウンを解除する国や経済活動再開に向けた動きを模索する国が増えてきたことで楽観論が優勢となり、それに伴う原油需要の回復が見込まれ、原油市場で4月のような暴落相場が無かったことも後押しに。原油高、株高に引っ張られるようにドル円も底堅く推移したが、コロナ第2波の警戒や香港問題などの米中対立が激しさを増してきたこともあり、上値は重いままだった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：世界中で新型コロナウイルス感染者は増え続けているが、欧米で経済活動再開の動きが進んできたことや経済指標が予想ほど悪くなかったことで、リスク選好ムードが広がってきた。マーケットも最悪期を脱しつつあると判断し、復興相場という期待感が大勢を占めてきたことで、堅調に推移している。しばらくこの流れが継続していくと思われるが、香港問題、米中貿易問題、新型コロナウイルス第2波への警戒などはリスク要因となりえるだろう。冷静にポジションを構築したい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
6 / 16 (火)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
6 / 18 (木)	20 : 00	G B	英中銀政策金利	☆☆☆☆
6 / 25 (木)	21 : 30	U S	米GDP確定値	☆☆☆☆
6 / 26 (金)	21 : 30	U S	個人消費支出	☆☆☆☆
7 / 2 (木)	21 : 30	U S	米雇用統計	☆☆☆☆☆
7 / 14 (火)	21 : 30	U S	消費者物価指数 (C P I)	☆☆☆☆
7 / 15 (水)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。